

特集

## 異文化と出会う ～所蔵コレクション紹介～

### 目次

異文化と出会う  
～所蔵コレクション紹介～

参考図書紹介

図書館からのお知らせ

学科推薦図書コーナー

夏の企画展示

「外国から見たニッポン」

夏休み貸出をご利用ください

学生希望図書制度について

編集後記



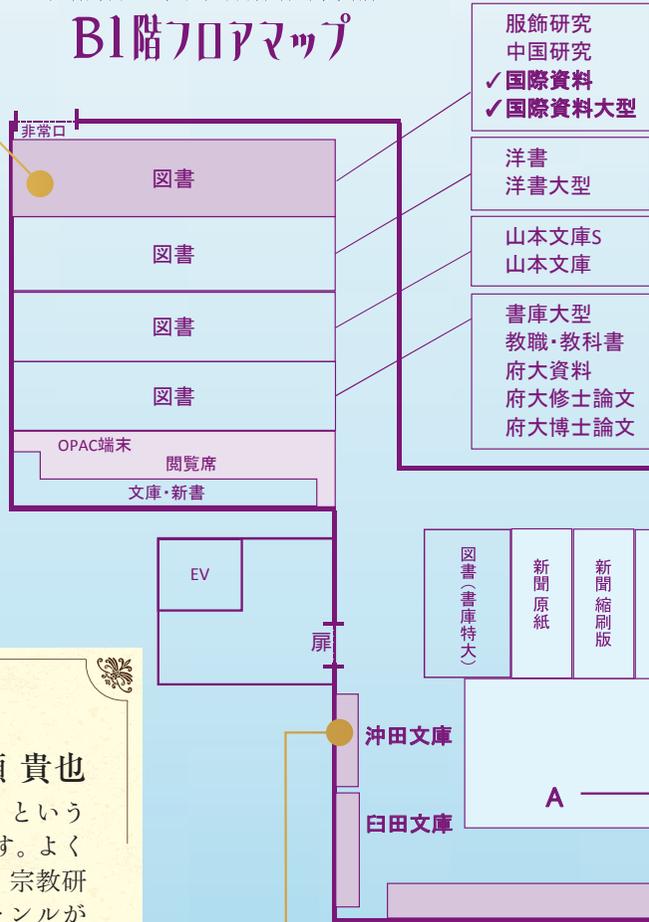
附属図書館には、いろいろなコレクション資料があるのをご存じでしょうか？本学の名誉教授や研究室から寄贈された資料を、主にB1書庫等の書架にまとめて所蔵しています。今回はこの中から、臼田文庫と沖田文庫、国際資料についてご紹介します。

## 国際資料

本学の文学部国際文化学科(1997-2011年度設置)の資料室で所蔵していた資料群。閉学科に伴い、資料を散逸させず学内で利用できるよにとの学科教員からの希望により、図書館に移管された。和書7,935冊、洋書1,438冊、中国書ほか745冊を所蔵している。



## 京都府立大学附属図書館 B1階フロアマップ



### 何かがある「国際資料」

歴史学科教授 川瀬 貴也

皆さんは図書を検索していて時々「国際資料」というカテゴリーのものに出会うことがあると思います。よく見ると日本文学、英文学、歴史学、はたまた哲学、宗教研究や文化人類学、言語学に関するものなど、ジャンルがバラバラで不思議に思われた方も多いかと思います。ということで、「国際資料」という資料群の来歴を簡単にお話ししましょう。

府大にはかつて「短期大学」がありました(場所は今はなき4号館です)。短大が廃止された際、そこにいた日本文学、英文学の教員を中心に、一時期文学部に「国際文化学科」という学科が作られました(僕もその一員でした)。実は「国際資料」とは、その短大及び国際文化学科で所蔵していた書籍をもとに作られた「ごちゃ混ぜ」のカテゴリーなのです。国際文化学科は組織替えのため2011年に閉学科されましたが、その「遺産」は今も図書館の一角を占めているわけです。静かな地下書庫に目的もなくふらっと訪ねてみませんか？「掘り出し物」があるかもしれませんよ。





# 所蔵コレクション紹介～

## 白田文庫

正式名称は白田昭・石田憲次文庫。英文学者で本学名誉教授の白田昭(うすだ あきら、1928-1990)の旧蔵書で、英米文学を中心とする和書1,790冊、洋書3,701冊、雑誌約30タイトルを所蔵している。「白田昭・石田憲次文庫」という名称がつけられたのは、白田が英文学者で京都大学名誉教授の石田憲次(いしだ けんじ、1890-1979)の次男であり、石田の没後その蔵書を引き継いでいたためである。アンソロジーや注釈書に関しては英文学の主要な作家や作品がほぼ網羅されている。個人全集や単行本については石田・白田両氏の関心が反映され、カーライル(1795-1881)やサッカレイ(1811-1863)などをはじめとした18～19世紀の散文文学に関するものを中心に収集されている。そのほか語学辞書、百科事典、英国史や地誌の類もかなり含まれている。



## 蔵書に学ぶ：「白田・石田文庫」

名誉教授 岡村 眞紀子

図書館は大学の顔である。本学の「顔」には、誇れる蔵書がある。「白田・石田文庫」である。かつてはキャンパス内の附属図書館の東書庫に収められていた。授業やご著書で多くを学んだ両先生のお姿のない図書館で、書物の利用のみならず、その蔵書に向き合うことで、深く大いなる教えと喜びを得た。

手元に所蔵して学に勤しまれた書物が、英文学関係でもご自身の専門の時代、分野にとどまらず、異版も併せ揃っていたこと、英文学を超え、私の想像の及ばぬ知の領域にまで亘っていたことは、当時の私を打ちのめした。懐かしくも畏れ多い著者の方々の、手書きの献辞と署名つき献呈本が幾冊も所蔵されていることにも、後に続く者を導いてくださった先生方の知の場の、宏遠なあり様に感じ入った。

そして今なお、英文学に向き合う者には有り難く必須の *NED* (*OED*の前身の *New English Dictionary*)の、当時の革表紙のままの使い込まれた姿を前に、息をのむ私である。

ただ、この貴重な蔵書を顔にもつ「京都府立大学附属図書館」の名が、建物の入口に目立たぬようひっそりと記されているのが、残念で不思議でならない。



## 沖田文庫

英文学のほか、日本における上海史研究の先駆者であり、本学の教授を務めた沖田一(おきた はじめ、1905-1985)の旧蔵書。ヘンリー・ジェイムズ(1843-1916)関係の和書188冊、洋書285冊を所蔵している。英米の出版社から発行されたヘンリー・ジェイムズの作品及び研究書ならびに国内で発行された翻訳書及び研究書が網羅されている。



# 参考図書紹介

## 『Britain & Japan Biographical Portraits, Vol. I-X』

山口 エレノア

日英交流に貢献してきた人物の活動を各章で紹介するこのシリーズは、イギリスにあるThe Japan Society(日本協会)が出版しているものである。ロンドンを拠点地とする日本協会は1891年に設立され、日英の相互理解に大いに貢献している団体である。その貢献の一つが*Britain & Japan Biographical Portraits*のシリーズ出版である。第1巻は1994年に、最後の第10巻は2016年に出版された。実は私も第7巻で中井弘、第9巻で武藤長蔵という日本人の二人についてそれぞれの章を執筆しているが、多くの執筆者はAntony BestやIan Nish等、イギリスの大学で日本学の授業を担当している専門家やHugh Cortazziや関榮次等、日本とイギリスで外交官としての経験のある人、日英交流を専門とする人々である。分野でいっても外交、政治、金融、教育、芸術、伝統、文学、スポーツ等々様々な分野に関連する内容があるので、私が担当している『国際文化交流演習』では学生の好む分野で授業中に好きな章を基に発表してもらっている。府大生の皆さんもぜひ、このシリーズの本を一冊、二冊、手に取ってみて、面白い人物や日英交流のエピソードを発見してみてください！ (国際文化交流科学科 准教授)



Ian Nish ほか編  
Japan Library, 1994-2016  
請求記号:319.3301|B|11~10

本書は  
「シラバス参考図書  
コーナー」に配架中

## 学科推薦図書コーナー

新着図書や府大コーナーの裏にあります

シラバスに掲載されている参考図書と、各学科の先生方からご推薦いただいた学習基本図書を「学科推薦図書コーナー」に設置しています。授業の予習・復習等にぜひご活用ください。



- 請求記号順に並べており、学内者のみ貸出できます。
- 図書館ホームページに図書リストを掲載しています。

こちらから▶



- 2025年度推薦図書については、8月以降に配架する予定です。
- 学内者のみ貸出できます。



## 夏の企画展示

ただいま企画展示コーナーでは、万博や外国人による日本滞在記、交流についての本を展示しています。開幕中の大阪・関西万博や、夏休み中の旅行をより楽しむために、外国から見た日本の歴史や、各国の民族性にぜひ触れてみてください。  
※京都学・歴彩館（一般閲覧席）にて共通テーマで資料を展示中です。併せてぜひご覧ください。

**期間** 2025年7月1日(火)～9月30日(火)

**場所** 2階フロア開架雑誌棚付近のスペース

**テーマ** 外国から見たニッポン



### ● 展示図書リスト（抜粋）

書名	著者名	出版社	出版日付	請求記号
万博学：万国博覧会という、世界を把握する方法	佐野真由子編	思文閣出版	2020.8	606.9  S
京都療病院お雇い医師ショイベ：滞日書簡から	森本武利編	思文閣出版	2011.5	289.3  S
イザベラ・バードの旅：『日本奥地紀行』を読む（講談社学術文庫）	宮本常一	講談社	2014.4	291.09  M
ニッポン（講談社学術文庫）	ブルノ・タウト	講談社	1991.12	291.09  T
旅するニホンゴ：異言語との出会いが変えたもの（そうだったんだ！日本語）	渋谷勝己、簡月真	岩波書店	2013.9	810.2  S
ヨーロッパ人の奇妙なしぐさ	ピーター・コレット	草思社	1996.10	361.42  C

### ● 展示電子ブックリスト（抜粋） 学内者限定

タイトル/著者名/出版社/出版日付/アクセス用二次元コード

#### 外国人から日本についてよく聞かれる質問200

著者名：森田正康ほか  
出版社：クロスメディア・ランゲージ  
出版日付：2023.11



#### 外国人から見たニッポン COOL? Or NOT COOL?

著者名：岸周吾  
出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン  
出版日付：2009.7

#### 逝きし世の面影（平凡社ライブラリー）

著者名：渡辺京二/出版社：平凡社  
出版日付：2005.9



#### 開国前夜、日欧をつないだのは漢字だった東西交流と日本語との出会い

著者名：小川誉子美/出版社：ひつじ書房  
出版日付：2023.6

#### 日本が知らないウクライナ歴史からひもとくアイデンティティ

著者名：ユリヤ・ジャブコ  
出版社：大学教育出版/出版日付：2023.12



### 【電子ブックの利用方法】

**STEP 1** 左記の二次元コードを読み取ります。

**STEP 2** 本学の全学認証ログイン画面で、全学認証ID（キャンパスWebにログインする際のID）とそのパスワードを入力します。

**STEP 3** 電子ブックが利用できます。



※利用開始ができない場合は、利用上限に達している可能性があります。時間を置いて再度お試しください。

※利用後は必ずログアウトしてください。

学外からの利用方法▶





## 夏休み貸出をご利用ください

- 対象者** 学部生・院生・教職員等
- 実施期間** 2025年7月23日(水)～9月21日(日)
- 返却期限** 2025年10月6日(月)
- 貸出冊数** 学部生・大学院生 **12冊まで**  
上記以外の本学関係者 **6冊まで**

👉 4回生・大学院生は  
特別貸出も使えます！

6冊 1ヶ月まで  
(合計18冊貸出可)

## 学生希望図書制度について

本学後援会のご支援により、図書館にない図書・電子ブックの購入リクエストを受付しています。

- 対象者** 学部生・院生
- 申込方法** Riflis で蔵書にないことを確認し、マイライブラリ、カウンター、メールでお申し込みください。
- 申込上限額** 年間一人あたり**2万円**

※選書指針に沿って購入します。ご了承ください。

こちらから▶



2024年度は**142冊**  
購入しました

### ★貸出ランキング★

- 1 「成瀬は天下を取りにいく」  
宮島未奈 / 新潮社
- 2 「星を編む」 凧良ゆう / 講談社
- 3 「中間子原子の物理：  
強い力の支配する世界」  
比連崎悟 / 共立出版

### 編集後記

1970年の大阪万博では、5000年後の人類に向けて、当時の暮らしや文化を記録したタイムカプセルが埋められました。本や図書館もまた、国境や時代を超えて情報を伝える身近なタイムカプセルといえます。今回の特集にあたり所蔵資料について改めて知ることも多く、先人の思いに触れる機会となりました。ご紹介した3つのコレクションは当館で一番涼しいB1書庫にあります。特に本学学生の皆さんに、静謐な空間で異文化と出会い、学ぶ楽しみを味わっていただけたらと願いつつ。(K.U.)

### 撮影note

表紙@図書館B1書庫  
皆様、図書館の地下書庫に行ったことはありますか？私は今回の撮影で初めて入りましたが、アンティークかと思う外国の古い本や普段見ることのない大きい本などど壮観で驚きました。本を手に取り、ぱらぱらとページをめくるだけでも素敵な時間を過ごせます。ぜひ一度足を運んでみてください。(府大写真部・飯間つぐみ)

『なからぎ』京都府立大学図書館報 250号 ISSN:1344-5561

2025年7月発行 編集発行人:小林啓治

発行所:京都府立大学附属図書館 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

TEL) 075(703)5128~5131 FAX) 075(703)5192

HP) <https://www.kpu.ac.jp/library/>

X(旧Twitter) アカウント名:京都府立大学附属図書館 (@kpu\_library)

▼図書館HP ▼X(旧Twitter)

